

2015 年度事業計画

1. 出資・融資事業

(1) 出資金の募集

2014 年度に引き続き、momo のミッションに賛同し、顔の見える関係にある個人・団体からの出資・増資を募っていきます。出資金の募集を「融資先に適切な支援を提供できる人材を巻き込む機会」としてとらえ、“量の拡大”ではなく「質の向上」に努めます。ブース出展時の直接対話（ダイレクトダイアログ）による働きかけも継続して実施し、新たな仲間づくりを進めていきます。

14 年度も、出資申込時にいただく「出資者の声」は、【その方らしい写真】とともに Web サイト『出資者の声』（<http://www.momobank.net/voice/>）に随時掲載していきます。（メッセージや写真が未掲載の正会員の方がいらっしゃいましたら、info@momobank.net までお送りいただけますと大変助かります。）

また、正会員のみなさまから周囲の方への働きかけも大歓迎です。「出資のてびき」（出資に関するパンフレット）等、当団体のパンフレットやチラシの配布にご協力いただける方は、必要部数、配布場所、送付先を明記の上、info@momobank.net までご相談ください。

(2) 正会員への融資

1) 融資の募集

15 年度の融資募集は年 3 回行います。融資申し込みの受付開始は、15 年 6 月、10 月、16 年 2 月を予定しています。

2) 「融資無料相談」「面談（一次審査）伴走支援」の実施

14 年度に引き続き、毎月 23 日前後に「融資無料相談」を開設（時間帯は各月によって異なる）し、融資希望者とともに融資の可能性を探ります。また、書類審査を通過した融資申込先に対しては、各担当理事が伴走支援を実施します。

3) 融資審査委員会の開催

15 年度も引き続き、融資申込案件は理事のほか、NPO/NGO やコミュニティビジネス、金融のエキスパートである顧問とともに、融資審査委員会で審議し、理事会で融資実施の可否を決定します

15 年度の顧問は以下の通りです（敬称略）。各顧問には、起業資金等に対する融資を審査する二次（面談）審査にはできる限り同席いただくようお願いします。

- ・五十川裕記（中日信用金庫 業務統括部 次長）
- ・加藤慶文（株式会社日本政策金融公庫 名古屋支店 国民生活事業 名古屋広域営業推進室 室長）
- ・川北輝（NPO 法人津市 NPO サポートセンター 理事長）
- ・酒井隆信（東濃信用金庫 とうしん地域活力研究所 副所長）
- ・佐野真隆（地域金融機関 職員）
- ・原美智子（NPO 法人ぎふ NPO センター 理事）

4) 融資の実施

借り手の資金ニーズの把握に努め、出資総額の 70%を上限に融資を行います。貸し倒れ等のリスク対策として、14 年度に引き続いて貸付金利息を損失準備金として積み立て、理事の出資金（15 年 6 月末で 2,375,000 円）を劣後出資として設定し、当面の貸し倒れに備えます。

昨年度に引き続き、正会員のみなさまからの出資金を地域の中で生かすために、規模ではなく「機能」の充実を目指します。

2. 非資金支援（「情報発信」と「場づくり」）

（１）メーリングリストの活用

出資や融資などの当団体の活動を随時お知らせするために、会員メーリングリスト（momo-members@freeml.com）を積極的に活用します。引き続き「momo レポート」を月 1 回配信するほか、会員間の情報交換、融資先や審査に関する情報などお届けします。

また、イベント情報等を会員に PR したい方は、交流メーリングリスト

（momo-koryu@freeml.com）をご活用ください。

（２）Web サイトの充実

当団体の考えや取り組み、かかわる人たちを広く伝えていくために、14 年度より引き続き Web サイトを活用します。なお、15 年度中に、スマートフォンにも対応できるよう Web サイトをリニューアルする予定です。また、ボランティアスタッフ「momo レンジャー」の日々の活動は、引き続きブログや twitter、facebook などでも報告し、当団体の動きが随時わかるよう努めていきます。

（３）ニューズレター『momo 通信』の発行

引き続き、年 4 回（A5 判／16 ページ／モノクロを予定）発行します。15 年度も融資先に焦点を当て、各融資先が育むコミュニティやソーシャルファイナンス（社会的金融）をテーマに、momo が取り組む「お金によって切れたつながりを、お金を通してもう一度つなぐ」試みを誌面上で展開し、Web サイト等で紹介されている内容にとどまらない情報を、会員のみなさまにお届けします。15 年度末までに、正会員数の 3 割（150 名）を目指します。

また、15 年度は出資者に向けたアンケートを実施し、その結果に基づいた誌面のリニューアルを検討しています。

（４）マンスリーサポーター制度「momo たね基金」の参加者募集

14 年度に引き続き、当団体の非資金的支援や運営を応援いただくマンスリーサポーターを募り、助成金や補助金に頼らない運営を目指します。15 年度末までに寄付総額 30 万円を目指します。

（５）イベントの開催・出展

15 年度もボランティアスタッフ「momo レンジャー」の自発的な参画により、以下の開催を予定しています。（今年度も momo レンジャーの活動期間を「半年」ごとの更新制とし、「情報発信」と「場づくり」を通して融資先を応援していきます。）

- お披露目会：新たな融資先の活動を紹介するイベントを開催します。
- 完済イベント：完済を迎えた融資先の成果を報告し、完済を祝うイベントを開催します。
- ブース出展：来場者が多数集まる屋内外の各イベントにブースを出展し、直接対話で出資を募る「ダイレクトダイアログ」等を実施します。
- 融資先訪問ツアー：会員とともに融資先を訪ね、自分たちのお金が地域で回り、地域に活かされていることを実感してもらいます。

（６）その他

15 年度も融資実施後の経過を把握するために、融資先の活動に適宜参加したり、「融資先訪問ツアー」等の開催を通して、ともに学び合う関係を築いていきます。また、返済期日を厳守いただくためにも継続して連絡を取り合っていきます。

また、今年 10 月に momo は創業 10 周年を迎えます。記念イベントの開催や成果報告書の発行等も予定しています。

3. 地域金融機関等との連携事業

（１）NPO の社会的価値「見える化」プログラム 2015【助成：公益財団法人日本財団、2015

年度公益信託愛・地球博開催地域社会貢献活動基金】

「ソーシャルビジネスサポートあいち」（※）に参加する支援機関職員が、仕事で培ったスキルや経験を生かして、NPO を半年間応援するプログラムです。

職員のみなさんは1つのNPOにつき10名程度のチームをつくり、ミーティング等を通して、NPOの事業が地域や社会にもたらした定性的な価値を、貨幣価値に換算して定量的に示す「インパクトマップ」を作成し、そのプロセスや結果からNPOへの提案をまとめます。
※地域の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス事業者を、地方公共団体、地域金融機関、中間支援組織等で連携して支援するためのネットワークです。地域の支援機関との共同で2014年10月23日に発足しました。

【参加支援機関一覧（2015年6月現在）】

●地方公共団体

- ・愛知県 ・公益財団法人あいち産業振興機構・名古屋市（市民活動推進センター）
- ・公益財団法人名古屋産業振興公社・半田市（はんだまちづくりひろば）

●金融機関

- ・株式会社愛知銀行 ・愛知信用金庫 ・瀬戸信用金庫・知多信用金庫 ・中日信用金庫
- ・東海労働金庫・東濃信用金庫 ・株式会社日本政策金融公庫

●中間支援組織・専門家

- ・公益財団法人あいちコミュニティ財団・コミュニティ・ユース・バンク momo
- ・株式会社ピー・エス・サポート

（2）東海ろうきん「NPO 育成支援助成」の企画・運営

15年度より「東海ろうきんNPO 育成支援助成（※）」の企画運営を担当します。地域や社会にもたらす価値（＝成果）を重視する、本気で社会を変えたいと考えているNPOの、経営戦略のフレームワークである「社会を変える計画づくり」「事業計画づくり」、そして「実行計画づくり」をサポートします。

（3）『お金の地産地消白書 2014』を読む会」の開催

14年度に発行した『お金の地産地消白書 2014』をテキストとした『お金の地産地消白書 2014』を読む会」を、全国の地域金融機関や行政、中間支援組織等を対象に実施します。

（4）実行委員会や会議等への派遣

15年度、代表理事の木村や他の役職員を委員等として派遣する予定の実行委員会、会議等は以下の通りです。

【木村】

- ・寄付月間推進委員会 委員
- ・休眠口座国民会議 呼びかけ人
- ・国土交通省中部地方整備局「中部圏広域地方計画有識者会議」 委員
- ・全国NPOバンク連絡会 副理事長
- ・一般社団法人全国コミュニティ財団協会 副会長
- ・東海若手起業塾実行委員会 理事／事務局長
- ・名古屋市社会福祉協議会・名古屋市主催「地域福祉リーディングモデル事業」選考委員会 委員
- ・名古屋市消費者市民社会研究会 委員
- ・認定NPO法人日本NPOセンター 評議員
- ・NPO法人日本ファンドレイジング協会 理事
- ・Panasonic NPO サポートファンド（環境分野） 助成選考委員

【鈴木】

- ・東海若手起業塾 起業家支援コーディネーター

（5）ヒアリング調査等への対応

15年度も引き続き、ヒアリング調査等のお申し出にもできる限り対応します。

4. 東海若手起業塾

15 年度も引き続き、事務局として参画し、東海地域を活性化するために自らの事業を本格的な成長軌道に乗せたいという情熱を持った若手起業家を支援していきます。

5. その他（管理運営）

●総会・理事会の開催

15 年 7 月 26 日（日）に定時総会を開催します。また、15 年度も理事会を原則毎月開催します。